

～ 70th Anniversary Project ～

※このプロジェクトのパンフレットは後程お送りいたします。

具体的な内容をご理解いただけるとと思いますので、取り急ぎ事業内容をお送りいたします。

日本に初めてライオンズクラブが誕生(東京 LC)してから本年は70年の年です。

この記念すべき年を節目として、日本のライオンズクラブを次の75年～100年と持続可能に発展させるべく日本ライオンズ(8複合)統一事業を「キックオフ」いたします。

「SDGs」×「ライオンズクラブ」を明確に打ち出し、内外へ広く一斉にPRします。

1 事業:

- ①日本のライオンズクラブ(2801クラブ・99500名)が一斉に「メディア」「SNS」「ポスター」「チラシ」にて日本ライオンズをPRする。
- ②あらゆる媒体で日本ライオンズをPRした様子をコンテストする。
- ③次年度以降、複合・準地区・クラブにて「SDGs」と奉仕を関連づける。

解説:

日本ライオンズはライオンズクラブのブランディング化に力を入れています。

これまで日本のライオンズクラブが一斉に事業を行い、それを一斉にPRした事はありません。

初の試みです。成功した場合、ライオン・ノンライオン共に大きなインパクトを与えます。

1—①:既存アクティビティ、新規アクティビティは問いませんが、「SDGs」と奉仕を関連付け、アクティビティの様子をPRしてください。ルール(条件)は下記A・Bのみです。

A:「SDGs」に関連した奉仕をすること。(PR時、説明できる事・取材時明言できる事)

B:アクティビティは「ライオンマーク」「紫色」もしくは「黄色」のものを着用すること。

(旗・帽子・ハンカチ・Tシャツ・ジャンパー・スカーフ・手袋・洋服など)

1—②:メディアは「テレビ」「新聞」「雑誌」「ラジオ」であり、取材を受ける事を推奨します。メディアに取り上げられない場合はSNS「フェイスブック」「ツイッター」「インスタグラム」「ユーチューブ」「TikTok」「ライン」に奉仕の様子をアップしてください。

SNSも出来ない場合は「ポスター」「チラシ」「例会報」「社内報」「掲示板」「街宣車」「パレード」「集会」にてPRしてください。複合・準地区・クラブ・個人において、これら一切に精通していない方は皆無と思われますので、何らかの形で外へ情報を発信ください。

これを、日本全国、指定した日時内で一斉に行います。(当日はライオンズ一色となる)アクティビティは指定日時前に行っても良いですが、PR 発信は指定した日時内で行う。メディアや SNS、其他媒体で PR した様子を PDF に変換し、地区へ提出する。準地区・複合地区にて 1 位～3 位までを決定し日本ライオンズへ提出する。日本ライオンズはそこから(理事長賞、優秀賞、特別賞等)を決定する。

1—③:今期のキックオフ宣言を契機に次年度より複合地区、準地区、各クラブにおいて行う 主なアクティビティと「SDGs」と結び付ける。もしくは新規アクティビティは SDGs の趣旨に沿った事業を計画して推進する。(2023 年～2030 年まで継続)

2 スケジュール:

2022 年 11 月 1 日(火)午前 10 時 「キックオフ宣言」PV 配信開始

2022 年 11 月 19 日(土)午前 0 時～(24 時間)「メディア・SNS」

2022 年 11 月 20 日(日)午前 0 時～(24 時間)「予備日」

※キックオフの日から予備日までにアクティビティを行って下さい。

※メディア・SNS での PR の日時とアクティビティの日時に差異が生じるのは構いません。

※本事業の趣旨に合致していればキックオフ宣言前の事業を PR の情報にして構いません。

2 SDGs について:

下記の情報を参考に、既存アクティビティ・新規アクティビティの SDGs と結びつけを行ってください。この作業は本事業にて必要なだけではなく、奉仕のニーズを確実にする為にライオンズクラブ活動において今後必ず必要な作業となります。



SDGs は 17 のゴール目標があり、Human『人間』 Society『社会』 Economy『経済』 Environment『環境』の 4 分野に集約できる。

人間・社会分野は「共生」、経済・環境は「循環」に大きく分類される。

★今回の「ライオンズ日本 PR」メインターゲットは、「環境・循環」とする。

1. 環境保全

◎気象変動問題の取り組み

エネルギーをクリーンに一石化燃料を削減し、再生エネルギーへ

カーボンニュートラルへ—CO₂ を±0 へ、CO₂ 排出量削減と森の再生

◎海の豊かさを守ろう

水温上昇・汚染・酸性化—ゴミを捨てない・拾う・出さない、流さない

◎陸の豊かさを守ろう

みんなで森を育てよう—植樹をする、乱開発をしない、生き物と共生

2. 循環型経済—つくる責任、使う責任 解決するカギ「4R」とは、

Reduce 「リデュース」物を減らす。

デジタル化、レンタル・シェア、リノベーション、食品ロス

Reuse 「リユース」資源・物を再利用する。

太陽光・風力・水力、アウトレットショップ、フリーマーケット、部品等の再利用

Recycle 「リサイクル」再資源化して再利用する。

再生紙、再生エネルギー、再生製品、資源ゴミ・使用済み商品回収

Refuse 「リフユーズ」断る

石化製品など使わない、もらわない、断る勇気を持つ

4 R に取り組むことで廃棄物を限りなく減らし、ゴミの焼却や埋立、海洋汚染など環境汚染を極力減らす。さらに、限りある地球資源を有効に繰り返し使うことで省資源・省エネルギー・環境保全を促します。

4 既存・新規アクティビティと SDG s 連動の例:

- ① 省エネ(電気・ガス・水道)の推奨(Co 2 削減呼びかけ)
- ② 資源ゴミの排出削減(ポイ捨て禁止・家庭ごみ)
- ③ プラスチックゴミの収集(海洋ゴミ清掃・道路清掃・河川清掃)
- ④ セミナー(講習)の企画・開催・コラボレーション
- ⑤ バザー・収益事業の開催
- ⑥ 献血・献腎・献眼・青少年健全育成事業
- ⑦ 食料支援(子供食堂・フードドライブ・フードロス)
- ⑧ 植樹・緑化運動
- ⑨ 青少年健全育成事業
- ⑩ LCIF

具体的な取組み—SDGs の学習と推進

環境 海を守ろう ポイ捨て禁止、海洋プラゴミの回収、海の学習

陸を守ろう 植樹活動・森の保全、森の学習、

循環 物を減らす

マイバック・マイカップ、耐久消費財・使い回し再生製品、省エネ商品、食品ロス等による省資源 IT 化によるペーパーレス、リモート会議等による省資源、循環型社会の学習

共生「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包容力のある社会の実現

グローバル・パートナーシップで、地区・クラブに根ざした事業を企画推進しましょう！

5 事業開始:

- ① 8 複合議長は直ちに所属準地区ガバナーへ本事業への参加を呼び掛ける。
- ② 準地区ガバナーは直ちに地区所属クラブへ本事業への参加を呼び掛ける。
- ③ 各クラブ・準地区は「PR」を何のアクティビティにて行うかを検討し、何の媒体
(メディア・SNS)で参加するかを決定する。
- ④ PR の準備(ライオンズマーク、紫色・黄色の着用物用意、マスコミ取材依頼)
- ⑤ アクティビティの決行(スケジュールによる)➡記録(写真・映像)
- ⑥ メディア・SNS 等をライオンズクラブにより一斉に PR する。(SNS は各自シェアする)
(上記スケジュールによる)
- ⑦ 各自、PR を行った様子を PDF にまとめ、準地区へ提出する。
- ⑧ 準地区は PR の審査(コンテスト)を行い、上位 3 案を複合地区へ提出する。
- ⑨ 複合地区は PR の審査(コンテスト)を行い、上位 3 案を日本ライオンズへ提出する。
- ⑩ 日本ライオンズは PR の審査(コンテスト)を行い、結果を発表する。
(日本ライオンズ並びに複合議長は結果を称えるアワードを創出する)
- ⑪ 第一副地区ガバナー・第二副地区ガバナーは次年度以降、地区方針に SDGs を盛り込む。
- ⑫ 各クラブはクラブアクティビティと SDGs を連動させるよう研究を行う。

※コンテストの方法は後程ご連絡いたしますので、内容を記録して置いてください。締め切りについては追ってお知らせいたします。

※メインターゲットは「環境・循環」としましたが、地区・クラブの都合により別のターゲット(SDGs)にて挑戦したい場合でもコンテスト参加を認めます。

まずは、一歩踏み出す事が大切です。